

6月学習会報告

南筑後外国語教育研究サークル
会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

第2回学習会 6月18日(土) 13:30 ~ 16:30 筑後市サンコアにて

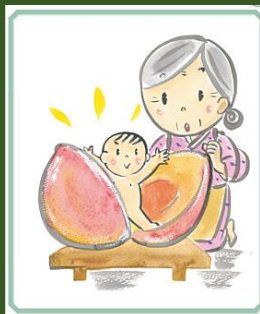
早いもので、あと数週間で夏休みを迎えようとしています。中体連の地区大会では、暑さに負けず日々頑張ってきた成果を存分に発揮したことでしょ。

さて、前回(5月学習会)、平成28年度福岡県公立高等学校英語入試問題の分析から、「今求められている英語力」について考えましたが、6月学習会では、小中高と接続した指導の中で、子ども達にどのように英語力を身に付けさせていくのかを考えました。小中高連携を踏まえ、柳川市立二ツ河小学校、主幹教諭古賀英興先生より小学校外国語活動の実践を発表していただきましたが、ご指導された英語劇「ももたろう」の映像を見て、授業背景を聞く中で、そのねらい達成のための様々な手だての工夫を知ることができました。そして、英語教育改革について聞いた後、小中高の先生方交えたグループで、今後、どのような指導を行っていくべきかを協議しました。

7月の定例学習会はお休みしますが、太田洋先生を東京より招き、夏季特別学習会(7月30日(土)三橋公民館にて)を開催いたします。小・中・高、校種を問わず、多数のご参加をお待ちしています！ (文責 古川)

「今求められている英語コミュニケーション力とは？」小学校外国語活動の実践 柳川市立二ツ河小学校 主幹教諭 古賀英興先生

【体験活動】
Hi, Friends! を
使用した活動例



★VTR視聴(二ツ河小6年オリジナル劇) We are good friends.★
授業づくりのポイント及び手だての工夫

- ① 時間をかけすぎない。Lesson7 全5時間設定(通常+1配当 発表会の時間も含む)
- ② 単元のねらいを明らかに(他校のよりよい取組のVTRを見せ、目標をもつ。見通しを持つ。)
- ③ 主体的、意欲的に活動する工夫(4限…ビデオを撮り、見せる→自分達で修正箇所を探る。5限…発表会。下級生を教室に招き、劇を見せる。下級生のあこがれになる！)
- ④ 日頃から、反応する態度、発話する態度を養める。

★模擬授業(How many~? / Can you~? のアクティビティ)★

「話す必然性」「聞く必然性」を設定すること。自己決定の場(自分の考えを言う)を設定すること。全体でインタビュー活動をするとき、一人になったら教室の真ん中へ。

英語教育改革についての説明およびグループ協議 教育庁南筑後教育事務所 古川志乃、姉川左希子

★英語教育の抜本的強化★

- ・グローバルな人材育成(県教育振興プラン)
- ・英語教育改革実施計画から
- ・生徒の英語力向上推進プランから
- ・学力の3つの要素と評価の観点との整理
「何を知っているか」「知っていることをどう使うか」「社会の中でどう関わっていくか」
- ・Hi, friends! Plus の内容から
- ・絵本の活用 中学教科書本文においても、どのように「読む」か、考える必要がある。
- ・今後のスケジュール 小H32~ 中H33~

- 小学校でも、中学校でも、英語空間を作ることが最も大切である。従来の日本語→英語という学習法ではなく、英語空間(英語を使う必然性と適切な場面設定+all English)の中で、考えや気持ちを伝えるツールであることを実感させることが大切だ
 - 高校英語教育において、大学への志望動機を英語で書き、それをもとにディベートをしたり、国語科との連携のもと小論文として書いたりしている。→教科をまたいで横断的指導が進んでいる。また、志望動機を英語で書く→自分が本当に伝えたいことは何であるかを明確にすることができ、思考力を育てることができる。
 - ローマ字は、小3年で習うが、中学校で習うへボン式とのちがいに戸惑う生徒が多い。
 - 中学校側が小学校の外国語活動で、何をどのように学んできているのかを知った上で指導にあたるのが、小中高連携において大切である。
- ~ ★初めて参加された先生方の感想★ ~
- ・英語教育の動向と、これからの自分の授業実践のビジョンを持つことができた！
 - ・子どもに、「やってみたい！」「使えるようになりたい！」「試してみたい！」と思わせる指導をするために、まずは自分が楽しんで授業を行っていきたい。